

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		-	-	-
(北陸)		コンビニ（エリア ア担当）	来客数の動き	・消費税の引上げに対する景気対策のキャッシュレス決済によるポイント還元の効果大きい。
		一般小売店〔精 肉〕（店長）	販売量の動き	・衣料品等の来客数は減っている。軽減税率等があるため、食品売場は変わらず推移すると思う。
		一般小売店〔鮮 魚〕（役員）	販売量の動き	・台風19号による大雨で多くの北陸新幹線が水没しているニュースを見たときは大変な衝撃を受けた。復旧にどれだけ時間が掛かり、流通はどうなるのかと心配したが、2週間を待たず暫定ダイヤで奇跡的に復旧した。この2週間は正に北陸新幹線開業前に戻った状況だったが、いかに北陸新幹線に依存しているかを思い知った。
		スーパー（総務 担当）	販売量の動き	・消費税の引上げと食品の軽減税率が実施され、酒などは月前半の販売量が減ったものの復調基調である。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・客単価が変わらない。
		コンビニ（店舗 管理）	販売量の動き	・前年は国体特需があり、売上は前年比で大きく下回るものの、一昨年比でみれば微減である。消費税の引上げでの落ち込みは特に目立っていない。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・ショッピングセンターの増床リニューアルが2件続いている。オープン当初は来客数が大幅に伸びているが、結果的に売上増は長く続いている。
		その他専門店 〔酒〕（経営 者）	販売量の動き	・消費税率が10%になったものに関しては、売上が減っている。極端に減っている感じではなく、ある程度減っている感じである。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（統 括）	来客数の動き	・リニューアルを実施したことにより単純比較ができないが、消費税の引上げによりこれまで伸びていた来客数が一旦落ち着いている。また、競合環境にも変化が出ており、その影響の度合いで状況が変わるとみている。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・当店を含め周辺も閉店時間が早くなっており、客足が鈍くなってきて、変わらず低空飛行である。また、台風19号の影響で北陸新幹線がしばらく止まったことにより、人や流通などが回らなくなって活気がない。製造業関係も落ち込んできているとの話を聞く。
		観光型旅館（ス タッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上は96%、宿泊人数は92%、宿泊単価は108%である。大型インバウンド案件や2名1室の割合が増えて宿泊単価は上昇しており、宿泊売上は前年を上回っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・台風19号の大雨による北陸新幹線の運休で、観光の仕事がかなりキャンセルになり影響を受けた。一方で、仕事関係の客は何とか当地に来ようとしている印象を受ける。
		通信会社（職 員）	来客数の動き	・台風19号によるイベント中止の影響があった。
		その他レジャー 施設〔スポーツ クラブ〕（総支 配人）	来客数の動き	・運動に一番良い季節になってきているが、新規入会が止まってしまっている。通常の会員募集にほとんど反応してこない。ネットでの体験申込みが辛うじてあるくらいである。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要があった影響で、10月の第1～2週までは売上、来客数共に前年を5%ほど下回っていたが、月中から盛り返し、今月の最終予想では売上、来客数共に前年比で5%程度伸びる見込みである。
	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・日常生活の支出も抑え気味とみられるなか、住宅業界でもローコスト系の商品を選ぶ客とそうでない客がはっきりしており、安価な商品を選ぶ人が多くなっている。	
	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・消費税の引上げで客の動きが鈍くなるかと予想していたが、今のところ変化はみられない。	
	住宅販売会社 （営業）	来客数の動き	・来場者数の低迷が続いていることに加え、購入動機の弱い客の動きが主流になってきている印象を受ける。	

商店街（代表者）	来客数の動き	・郊外の大型ショッピングセンター拡張の影響があると考えられているが、入込客は減少している。ただし、イベント実施時の入込客は相変わらず多い。回遊性を求めている客のニーズに合った商品や店舗が何かを真剣に考えなければならない。
一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・売上、利益共に前年比減で厳しく、客からの引き合いも非常に少ない。
一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・消費税の引上げの影響は大きく、客の買い控えなどもあり、販売量は大きく落ち込んでいる。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・消費税の引上げの影響や、郊外大型店の増床リニューアルの影響がある。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・消費税の引上げ前の9月最終の3日間における駆け込み需要は、お祭りのように特に好調に推移した。10月に入ったの影響は、予測を大幅に下回る苦戦が続く。さらに、気温や台風など災害の影響で消費マインドが低下している。必需品以外の購入は皆無に近い。また、優待品などの低単価品やお買得品の購入はあるものの、定価品の購入は少ない。政府主導のポイント還元策の対応がない当店にとって、日用品の購入は特に影響がある。肌着や靴下などがより影響を受けている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・消費税の引上げ前の需要増の反動は限定的だが、当店ではキャッシュレス決済によるポイント還元の実施がなく、来客数の落ち込みがみられる。
スーパー（店舗管理）	単価の動き	・来客数が低迷しているが、客単価の減少が目立ち、消費税の引上げによる消費者心理の冷え込みが見受けられる。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売、サービス共に厳しい状況が続いている。
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・消費税の引上げ後の反動という感じではなく、全ての物について購入が慎重になっている。今必要なもののみ購入している。
自動車備品販売店（役員）	来客数の動き	・想像以上に消費税の引上げ後の反動が集客に影響している。月初の週末は平日並み、台風の影響も重なり厳しい状況となった。特に高額商材の動きは悪い。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・自然災害の影響で、予約のキャンセルがある。
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・10月の売上は台風19号の影響で、実質キャンセルは600名で1200万円である。その後の北陸新幹線不通によるキャンセル、被災によるキャンセル等を含めると約2000万円減少している。
都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・10月からの消費税の引上げと、台風19号による宿泊、宴会関係のキャンセルや規模縮小などにより、来客数の動きは悪くなっている。
旅行代理店（所長）	お客様の様子	・消費税の引上げや台風のため旅行控えが目につく。北陸新幹線の不通によるものが多く、復旧開通後に期待している。
タクシー運転手	来客数の動き	・台風19号の影響で北陸新幹線が不通になったことから、観光客やビジネス客が来なくなった。そのため金沢駅を中心に客が減り、売上が激減している。
通信会社（役員）	販売量の動き	・通信サービスの新規契約数の推移をみると、今年度初めから徐々に低下傾向にある。10月の消費税の引上げで、家計の引締めが進んでいるのではないかと考える。
通信会社（営業担当）	来客数の動き	・消費税の引上げに伴い来客数が減り、販売量も減っているように見える。
通信会社（役員）	販売量の動き	・前年同月比では、放送、通信サービス共に増加しているが、3か月前と比較すると若干契約数が減少している。
テーマパーク（役員）	来客数の動き	・10月は台風を中心とした自然災害や、北陸新幹線の一部不通等の影響、また、消費税の引上げの影響もあるのか、全体として国内の個人客や団体客の動きが大きく鈍っている。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・イベントの来場者数や問合せ数は明らかに減ってはいるが、省エネポイントや住宅ローン控除の拡大を意識し、検討する客が増えた。

	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要も終わり、10月初旬は恐ろしいほど街中に人が出なかった。デパートではスタッフの方が多いような状態で、大変不安を感じる。
	×	商店街（代表者）	単価の動き	・今月は台風や台風による北陸新幹線不通の影響が非常に強く、売上が大幅にダウンした。来客数は思いのほか減らなかったが、単価が大幅にダウンしている。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・9月は後半に消費税の引上げ前の駆け込み需要があり、最終的に前回増税時並みの伸びを確保したが、10月はその反動で消費心理の冷え込みがみられ、前年を割り込んで推移している。後半は持ち直してきており、前年実績を超える日も出てきた。最終的には前回増税後の2014年4月並みの前年比マイナスで着地の見込みである。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数、売上金額共に1割程度減少している。朝と昼の売上の影響はさほどないが、仕事帰りで、一番単価の高い時間帯である夕方以降の売上の減少が大きい。消費税の引上げ対策の軽減税率はややこしい。キャッシュレス決済も、以前からキャッシュレスで会計している客の利用は相変わらずで、現金で支払う客は、キャッシュレスに興味を持たず、現金支払が中心である。対策が空回りしているように見える。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・県内と市内で、2件の大型ショッピングセンターの大幅増床を伴うリニューアルにより、中心部の来客数が減少している。
	×	家電量販店（店長）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要からの反動がある。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・10月に入り、販売が極端に落ちてきた。今までにない変化である。他社の状況を聞くと、同様の状況だった。消費税の引上げの影響は大変大きい。
	×	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・消費税の引上げ後の影響が大きい。
	×	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・台風19号の影響で北陸新幹線が2週間運休したことにより、来客数は例年に対して85%まで大きく落としている。秋の観光シーズンと重なったことも大きい。
	×	一般レストラン（統括）	単価の動き	・消費税の引上げで、来客数、販売数共に減少している。他社の値引きの販売促進などの様子を見ると、消費者は必要なものほど、より安いものを吟味して選んでいる傾向がある。その結果、外食も必要以上の量を求めず、単価を抑えて食している傾向である。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線不通により、修学旅行を含む宿泊、宴会、レストランのキャンセルが出た。その上、消費税の引上げによる節約志向の高まりを強く感じる。価格転嫁ではなく値下げをしているが、販売量は全く戻らない。
企業 動向 関連	-	-	-	-
(北陸)		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設業では、当社も他社も公共事業の受注は順調に進んでいる。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の半数は仕事が忙しいという話である。
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・低空飛行は変わらない。積極的に販促を仕掛けてようやく前年を維持できるかといったレベルである。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・用途によるが、衣料関連は特に悪い。資材、雑品関係については、稼働状況がそれなりに良いという状況である。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・毎月の受注は順調に推移している。
		精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・全体量として余り変化はないが、どちらかということ中～低価格帯商品の比率が高まっている感じがする。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・資金需要は低下しており、これから冬の時期に関する季節資金需要もまばらで、前年と同水準若しくは下回る水準で推移すると見込まれる。
		司法書士	取引先の様子	・新規事業の用地売買が複数あったが、建物取壊しの後、更地にするだけ、若しくは駐車場にするという案件も多い。

	税理士（所長）	取引先の様子	・今の景気が少しみえづらなくなった。設備投資関係の先行きの見通しが悪いが、現段階では受注残がある。また、従業員等の残業が減ったことから、給料が減っている傾向がみえ、個人消費が非常に不安である。キャッシュレス決済のポイント還元などの兼ね合いで、衣料関係などが結構売れているということである。非常に不安を抱えながらであるが、それほど悪くなっていないと考える。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況は、分野によっては米中貿易摩擦の影響を受け、減少に転じているものがある。また、原材料費や物流費の高騰も影響を及ぼしつつある。加えて、台風などによる通行止めも各地で発生し、物流に影響があり、受注量の減少も招いている。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米市場、国内市場共に前年同月比で受注量が落ちている。	
	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・受注額が7月以降、4か月連続で前年同月を下回り、減少傾向に歯止めが掛からない。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・小売店や百貨店からは、消費税の引上げによる買い控えは今のところ限定的との意見が多かった。一方で、北陸新幹線運休の影響が大きく、観光需要期の来客数の減少で、当てにしていた収益が頭打ちとなった小売業や飲食店、サービス業が多い。	
	x	*	*	*
雇用 関連 (北陸)		-	-	-
		-	-	-
	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・依然として人材派遣システムへの求職者が増えない。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・1回当たりの掲載件数がほとんど変わらない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・実感として消費税の引上げが正社員の給与にじわじわと影響している。ポイントサービスを利用できる消費者以外は、買物時に消費税の引上げを実感しているのではないかと考える。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の有効求人倍率は1.98倍と、前年同月比で0.09ポイントの減少となっている。新規求人数は前年同月比4.2%と、僅かながら増加している。結果としては横ばい状態である。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・職業紹介も派遣も求人数が少ない。求職者も短時間勤務希望者などはいるが、フルタイム勤務を希望する登録者の数が少ない状況が続いている。	
	x	-	-	-